

# 「備え」について 再確認を！



▲令和2年7月豪雨  
大崎町内各地の災害状況

令和2年7月3日から11日にかけて、熊本県や鹿児島県を中心に、九州各地で集中豪雨による災害が発生しました。大崎町でも、床上浸水が18棟、床下浸水が15棟、土砂崩れ等による通行止め、橋の崩落など、大きな被害を受けました。7箇所の避難所に、延べ40世帯52人が避難し、数日間家に帰ることができなかった方もいます。

近年、経験したことのないような災害が発生し、各地に大きな爪痕を残しています。いつ起こるかわからない災害。自分や大切な人の命を守るために、私たちが今からできる「備え」について一緒に考えてみませんか。

## 備え ①

## 防災情報の伝え方を知ろう

警戒レベル4までに  
必ず避難！

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保※1
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示 (注)
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動動を確認	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

令和3年  
5月20日から  
避難勧告が  
廃止です

高齢者など  
避難に時間  
かかる人は  
避難開始

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない  
 ※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである  
 (注) 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令する